

2020年度 共立女子大学・共立女子短期大学 FD活動概要

□本学の教育状況

全専任教員から回答があった前期の授業実施についてのアンケート、授業評価アンケート、学生生活・オンライン授業についてのアンケートの集計結果と前年度との成績の比較から、
・オンライン授業の要項として示された授業における「学修活動の提示、到達度(学修状況)の評価、フィードバック」の活動について、全体としてkyonetやgoogleのサービスを活用して実施されていた

・昨年度までと同等の教育効果を担保した授業が実施されていた

・学生からはオンライン授業において学修活動に対するフィードバックを求める要求が多く、自身の学修状況を把握できない不安が高かったことが明らかとなった。

□昨年度からの継続的な取り組み

- 授業評価アンケートの実施と結果の集計・分析
 - オンライン授業が多く実施されたため、アンケート項目の見直しを行い、オンライン授業の影響や効果について分析を行った。
- 授業評価アンケート結果への所感の実施と集計・分析
 - 授業評価アンケートの結果に対する教員の所感の書き方をまとめ、書き方の支援として教員へ展開した。
- オンライン新任研修会の実施
 - 動画コンテンツを作成し、新任研修会をオンラインで実施した。
 - webコンテンツの構成
 - 1.学長からのメッセージ
 - 2.教学マネジメント関連の国の政策動向について
 - 3.本学の教育改革の取り組みについて
 - 4.成績評価の基準、GPAの活用、単位制度の実質化について
 - 5.本学のFD活動の取り組みについて
 - 6.担任教員としての役割
 - 7.全学教育推進センターについて
 - 8.kyonetの概要について
- ルーブリックの活用支援
 - 今年度から展開されているルーブリックについて、活用事例をwebサイトに掲載した。
- 成績評価基準導入後の評価
 - 2019年度から導入した科目の到達目標、単位取得目標を設定した効果の検証(複数クラスでの成績評価のばらつきの分析)を行った。
- シラバスの是正
 - 各学部・科と連携してシラバスチェックを実施し、不備があるものを是正する取り組みを行った。

□今年度の新規の取組み

- オンライン授業実施の支援
急遽実施となったオンライン授業を支援するために、「オンライン授業の作り方」研修会を開催した。また、オンライン授業の要項として示された「学修活動の提示、到達度(学修状況)の評価、フィードバック」を本学で展開されているシステム、サービスを活用して実施する方法を整理し、ウェブサイトに掲載した。個別の支援としては、ウェブサイトに対応窓口を設置し、kyonetやgoogleのサービスの利活用方法、教材の作り方、授業の進め方の支援を行なった。また、オンライン授業における著作物の利用についての情報を収集、整理して学内に展開し、オンラインで著作物を円滑に授業利用できるようSARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)へ申請した。
- 100分授業の実施支援
2021年度から実施される100分授業の支援として、先例の収集、整理を行い、ウェブサイトに掲載した。また、授業設計と授業デザインの具体例の研修会を開催した。また、ウェブサイトの対応窓口で個別の支援を行った。
- 授業見学会の代替となる取組み
新型コロナウイルスの影響で今年度の授業見学会の開催は見送られた。その代替として、前期のオンライン授業の様々な実践例をウェブサイトに掲載した。また、前期および後期に開催したオンライン授業を振り返るリフレクションシートを作成する取組みを専任教員が全員参加するFD活動として実施した。
- ティーチングポートフォリオの導入
全専任教員が半期ごとに担当する授業全体を振り返るリフレクションシートを作成し、kyonet上にティーチングポートフォリオとして蓄積する制度を構築した。
- 授業のPDCAサイクルの策定
授業改善をエビデンスに基づいて定量的・定性的に評価できる枠組みとして、同一システム上で活動履歴を管理できる教育改善のPDCAを定義した。
Plan: 授業設計を行い、シラバスで公表(教育手法やルーブリックの設定)
Do: 授業計画に基づき、授業実施(kyonetのクラスプロファイルを活用)
Check: 『授業評価アンケート』を実施し、個々の授業の振り返りとして『授業評価アンケート所感』を教員が表明
Action: 全体の授業の振り返りと今後の授業改善を検討する『授業リフレクションシート』を作成し、ティーチングポートフォリオとして蓄積・管理
- 教育学習データの分析
 - LMSのログデータを中心に実施された授業の形態や学習状況の分析を行った。
- 学生向け学修支援サイトの構築
 - 大学・短大での学びの特徴や、主体的・対話的で深い学びを自律的に行うことの認識を高めるウェブサイトを作成した。

□FD研修会の参加状況

2019年度

学部	学科	人数	2019/4/11 新人対象FD研修会			2019年6月 授業見学会		9/20ルーブリックの 効果的な活用方法に ついて		2019年11月 授業見学会	
			対象者	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服学科	10	-	-	-	10	100%	3	30%	9	90%
	食物栄養学科	12	1	1	100%	12	100%	6	50%	12	100%
	建築・デザイン学科	9	1	1	100%	9	100%	2	22%	6	67%
	児童学科	20	1	1	100%	17	85%	4	20%	15	75%
文芸学部		35	1	1	100%	30	86%	5	14%	16	46%
国際学部		28	2	2	100%	19	68%	5	18%	11	39%
看護学部		29	5	4	80%	27	93%	7	24%	26	90%
ビジネス学部		4	-	-	-	4	100%	2	50%	3	75%
生活科学科		8	-	-	-	7	88%	3	38%	3	38%
文科		9	-	-	-	7	78%	2	22%	4	44%
計		164	11	10	91%	142	87%	39	24%	105	64%

2020年度

学部	学科	人数	オンライン授業の作り方 20200612		新人対象FD研修会 20200604			前期授業リフレクションシート 20200624～0914		
			参加者	参加率	対象者	参加者	参加率	対象者	参加者	参加率
家政学部	被服学科	11	6	55%	-	-	-	10	10	100%
	食物栄養学科	12	6	50%	-	-	-	11	11	100%
	建築・デザイン学科	10	6	60%	2	0	0%	9	9	100%
	児童学科	20	12	60%	1	1	100%	20	20	100%
文芸学部		35	10	29%	4	4	100%	34	34	100%
国際学部		27	5	19%	1	1	100%	26	26	100%
看護学部		29	23	79%	2	1	50%	29	29	100%
ビジネス学部		19	12	63%	15	14	93%	19	19	100%
生活科学科		7	6	86%	2	2	100%	7	7	100%
文科		8	2	25%	1	1	100%	7	7	100%
全学教育推進センター		1	1	100%	1	1	100%	-	-	-
計		179	89	50%	29	25	86%	172	172	100%

学部	学科	人数	100分授業の授業設計研修会 ①20201112		100分授業の授業設計研修会 ②20201126	
			参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服学科	11	2	18%	0	0%
	食物栄養学科	12	3	25%	3	25%
	建築・デザイン学科	10	1	10%	4	40%
	児童学科	20	4	20%	6	30%
文芸学部		35	2	6%	3	9%
国際学部		27	3	11%	2	7%
看護学部		29	9	31%	15	52%
ビジネス学部		19	5	26%	7	37%
生活科学科		7	2	29%	4	57%
文科		8	0	0%	1	13%
全学教育推進センター		1	1	100%	1	100%
計		179	32	18%	46	26%

以上